



河津さん 代表 松永さん

移住者が楽しい日田ライフを  
過せるように紹介します！

移住定住支援をま  
めた。ページは



## 人と人をつなぐ NPO法人リエラ

▼住所 鈴連町884・1

▼問合せ ☎0800・85822・5914

2019年に設立した災害支援、防災活動支援、移住定住支援を目的とする団体です。移住者が「ここに住んでよかった」と思えるように、昨年度から日田市との協働事業で、移住相談会や移住者交流会などを企画・運営しています。



## 定榮さんにインタビュー



## 日田の暮らし

どんな生活を送っていますか？  
以前住んでいたところは離島で、欲しいものをネットで頼んでも4日ほどかかっていた。ここでは、街に出ればだいたいの物が揃うし、買い物もそんなに不便ではありません。海がないことに不思議な感覚がありますが、潮風と違って風がサラサラしていて気持ち良いです。  
家族でよくドライブをしますが、行きたいときにどこでも行ける環境と車窓の景色が変わること、四季が感じられるところは楽しいですね。  
周りの環境は変わったけれど、自分たちのライフスタイルは特に変わっていません。**夫婦二人でのんびりと子育てができています。**長男は園に通い始めて社交性が育ってきました。泥だらけになって遊ぶのが大好きなので洗濯が大変ですが、楽しそうな姿を見ると移住してよかったと思っています。

## 移住される人へのアドバイス

その土地の歴史や文化、産業を知っておくと、地域の人のひずみは生まれにくいと思います。

## 人と家をつなぐ

### NPO法人日田移住サポートセンター

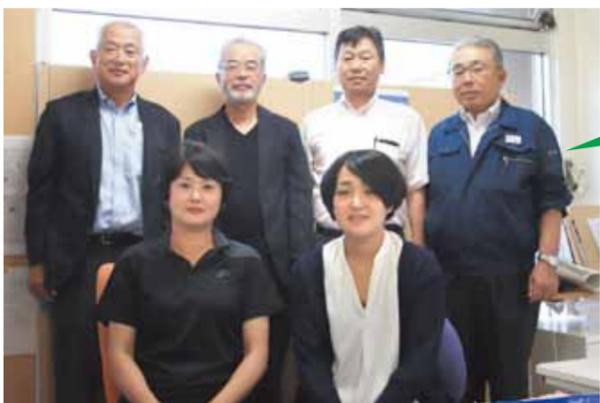
▼住所 元町13・20

▼問合せ ☎08158

「NPO法人日田移住サポートセンター」は、空き家バンク物件の調査、見学案内等を行っています。

Facebook（下記二次元コード）

では、日田での飾らない日常生活を発信しています。



諫本さん 理事長 樋口さん 高倉さん 江藤さん  
伊藤さん 洲崎さん

「ひた暮らしのココが知りたい」  
など、お気軽にお尋ねください！

日が当たるのが当たり前の土地に住んでいましたが、ここでは山々が重なり近いので、日が当たることは貴重なこと。その地域によって当たり前が違うように、地域が大切にしていることを理解しようと努めることでうまく溶け込めると思います。また、病院や学校、スーパーなど周りの生活環境がいくら整っていても、水漏れしたときなど自分で解決できる力がないと生活は続かないと思います。「知り合いがいるから安心できる」という**人との縁も大事ですが、自分で覚悟を決めて移住することが大事だと考えています。**

## これからやりたいこと

先日日田祇園山鉾会館に行きましたが、あの大きな山鉾がどのように動くのに興味を持ちました。**早く日田の祭りを楽しみたいです。**

現在、家の前にある畑で茄子やトマトなどを栽培しています。子供たちと一緒に育て、新鮮な野菜を食べられることが暮らしの中の楽しみの一つです。来年は、田んぼを借りてお米を作ってみたいと思っています。

## NPO法人日田移住サポートセンター 洲崎さんにインタビュー

NPO法人日田移住サポートセンターでは、単なる物件の案内だけではなく移住希望者の思いや状況をヒアリングし、見合った物件を提案したり**移住後の生活がイメージしやすいように会話を重ねる**ことを心掛けています。

実際に移住された人が地域になじみ「移住してよかった」と言ってくれたときはとてもうれしく思いました。

今後も空き家を解消するために、地域全体で移住者を歓迎する地域を増やし、移住後に周囲の人と協働して生活しやすい地域を作っていけたらと思っています。

Facebookページ

「日田の暮らし案内」

日田「ココ」



これらの団体のほかにも移住サポートとして、先輩移住者や日田を愛する人たちが構成する「ひた暮らし応援団」や移住者の受入れに積極的な「移住受け入れ地域」があり、みなであなたの「ひた暮らし」を応援しています。

移住後のフォローとして、訪問や移住者交流会を開催しています。参加者から「横のつながりができて気持ちが楽になった」と言ってもらえたときはうれしかったです。  
移住者は「地域になじめるだろうか」、移住者を受け入れる側の地域住民は「どんな人が来るのだろうか」とお互い不安を抱えています。  
そうした**移住者と地域をつなぐ**ために、**今後も移住前後の顔の見える関係づくり**を行っています。